

事業報告

第114期 営業報告書(自平成14年3月1日 至平成15年2月28日)

1. 営業の概況

(1) 営業の経過及び成果

(イ) 営業の状況

当期におけるわが国の経済は、国際情勢に緊迫感が高まる中、世界的な株式市場の低迷と相まって資産デフレが進行し、個人消費の減速と失業率の悪化が続きました。

映画界におきましては、スクリーン数は前年比50増と9年連続増加して2,635に達するとともに、新旧の交替が進みシネマ・コンプレックスが過半数を占めるにいたりました。また映画人口は1億6千万人を維持し、興行収入も前年度に次ぐ史上2位の1,967億円を確保しました。

このような情勢下にあつて当社の業績は、前期に歴史的な新記録となりました映画営業部門が減収となりましたものの、演劇興行、テレビの両部門が収入をのばし、また販管費等の節減効果と特別損失の減少も寄与し、営業収入は844億8千万円(前期比14.2%減)、経常利益は127億5千9百万円(前期比2.5%減)、当期利益は新記録の65億8千6百万円(前期比5.5%増)となりました。

以下各部門ごとにご報告申し上げます。(各部門とも数字は内部振替控除前のもの)

映画製作 製作部門は、「名探偵コナン ベイカー街の亡霊」「猫の恩返し」「ベイブレード THE MOVIE」「リターナー」「明日があるさ THE MOVIE」「トリック-劇場版-」「黄泉がえり」「13階段」を製作し、株式会社東宝映画にて「模倣犯」「竜馬の妻とその夫と愛人」「ゴジラ×メカゴジラ」を製作いたしました。

映画営業 前記作品のほか「2002ドラえもんフェスティバル」「映画クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶアッパレ!戦国大合戦」「ナースのお仕事 ザ・ムービー」「劇場版ポケットモンスター5」「劇場版とっとこハム太郎 ハムハムハムージャ!幻のプリンセス」のヒット作品を含む27本を配給いたしました。その結果、映画営業収入は200億6千8百万円(前期比41.2%減)となりました。

映画興行 日劇プレックス、スカラ座、ナビオTOHOプレックス、南街シネプレックス、名鉄東宝等102スクリーンにおいて興行をおこないました。前記当社配給作品のほか、「ブラックホーク・ダウン」「ビューティフル・マインド」「スパイダーマン」「スター・ウォーズ エピソード2/クロンの攻撃」「サイン」「ロード・トゥ・パーディション」「マイノリティ・リポート」「レッド・ドラゴン」「戦場のピアニスト」等多様な話題作・ヒット作を上映いたしました。その結果、映画興行収入は175億5千万円(前期比11.9%減)となりました。なお期中に、兵庫県伊丹市に「伊丹TOHOプレックス」8スクリーンをオープン、大阪市北区の北野劇場、梅田劇場、梅田スカラ座の客席ならびにロビーを大改装、分割して2スクリーンを増加、ナビオシネ4、5と合わせ「ナビオTOHOプレックス」として7スクリーンをリニューアルオープンする一方、名古屋市の名宝劇場、名宝スカラ座、名宝シネマを閉館し、直営館合計は7スクリーン増となりました。また子会社経営により、愛媛県新居浜市に「新居浜TOHOプレックス」7スクリーン、富山県高岡市に「高岡TOHOプレックス」8スクリーンのシネマ・コンプレックスをオープン、その一方で仙台市ほかの老朽化した8スクリーンを閉館、グループ合計14増の283スクリーンとし、質量ともに東宝系興行網の充実をはかりました。

演劇興行 帝国劇場においては、ミュージカル「チャーリー・ガール」、ショー劇「SHOCK」、ミュージカル「ラ・マンチャの男」、大好評の再演作「ビギン・ザ・ビギン」、ミュージカル「モーツァルト!」、「SHOCK is Real Shock」が大ヒットいたしました。

芸術座においては、名作「放浪記」と、「奥さまの冒険」「夫婦漫才」がいずれも大入りとなり、また東宝名人会も堅実な興行をおこないました。

日生劇場では、「ザ・コンボイ・ショウVol.21」、ミュージカル「モーツァルト!」、ミュージカル「ジキル&ハイド」がいずれも大ヒットとなりました。

さらに、全国へと展開を続けている東宝演劇の各公演も部門収益に多大の寄与をし、演劇興行収入は12億2千万円（前期比9.3%増）となりました。

テレビ 放送用映画番組は、連続ドラマ「トリック2」2本、大きな話題を呼んだ昼帯ドラマ「真珠夫人」65本に加えて2時間ドラマ「考古学者 佐久間玲子2」「お局探偵5」「湯布院殺人事件」等8本、さらに劇場版「トリック」をあわせて合計76本を制作いたしました。番組販売収入を加算したテレビ収入は14億3百万円（前期比13.6%増）となりました。

映像事業 ビデオ事業は、レンタル用カセットおよびセル用DVDとして「ウォーターボーイズ」「ラッシュアワー2」「陰陽師」「犬夜叉 時代を超える想い」「ゴジラ モスラ キングギドラ 大怪獣総攻撃」「スパイゲーム」「模倣犯」「ワンス アンド フォーエバー」等、レンタル専用カセットとして「とっとこハム太郎 ハムハムランド大冒険」「プラトニックセックス」「冷静と情熱のあいだ」「ドラえもん のび太とロボット王国」「ソウル」「名探偵コナン ベイカー街の亡霊」「ニューヨークの恋人」等を提供すると共にセル用DVDとして「黒澤明DVD-BOX」全3巻、及び単品の発売もおこないました。

出版・商品事業は「スターウォーズ エピソード2」「ポケットモンスター 水の都の護神」「猫の恩返し」が順調に稼働いたしました。

版權事業は“ゴジラ”の商品化権収入と各種受取配分金がありました。以上により映像事業収入は、20億7千1百万円（前期比2.3%減）となりました。

不動産経営 昨年11月に東京都渋谷区に賃貸マンション「アビティ代々木上原」、本年2月には名古屋市瑞穂区に同「アビティ瑞穂」が竣工し、それぞれ全室稼働いたしました。一方で名古屋市中区の名宝ビルは昨年11月末にて閉館し、再開発に着手しております。

不動産賃貸市況が低迷する中、積極的にテナントの見直しをはかりましたが、横浜など再開発物件の休業等により、不動産経営収入は18億9千4百万円（前期比2.6%減）となりました。

その他の営業諸収入は8千5百万円（前期比10.6%増）となりました。

以上の営業収入合計額90億9千4百万円より内部振替額5億6千1百万円を控除した額が前記営業収入となっております。

（ロ）設備投資及び資金調達の状況

当期の設備投資は、難波土地購入代金として13億9千6百万円、ナビオT O H Oプレックス改修工事代金として7億3千7百万円、撮影用大ステージ新設等東宝スタジオ改修工事代金として6億4千5百万円、シネマメディアージュ興行設備代金として4億2千5百万円、アルテ曾根購入代金として2億8千万円、アビティ瑞穂新築工事代金として1億1千8百万円、芸術座改修工事代金として1億6百万円、その他を加え総額46億5千6百万円となりましたが、それらは自己資金により充当いたしました。

（ハ）ヴァージン・シネマズ・ジャパン株式会社の全株式取得について

当社は平成15年2月25日の取締役会において、ヴァージン・シネマズ・ジャパン株式会社の全株式を約100億円にて取得する決議をし、同社の親会社であるヴァージン・ホールディングS Aとの間に買収基本合意書を締結いたしました。

同社は日本国内において8サイト、81スクリーンのシネマ・コンプレックスを保有し、何れも好調に稼

働している国内第6位の映画興行会社です。同社を傘下とすることにより、東宝グループは保有スクリーン数364となり、2位に35スクリーンまさる国内第1位の映画興行勢力となります。当社はこの買収により、興行網の効率的展開と配給網の充実をはかり、株主価値を高めてまいり所存です。

（2）当社が対処すべき課題

今後の経済情勢は国家間緊張の高まり、米国経済の不振、金融システムの混乱など多重不安を抱えながらデフレの進行、消費の停滞が続くと思われます。

映画業界は優良シネコンが好稼働する一方、観客の劇場選別により既存劇場が苦戦を強いられ、多様なデジタル映像の台頭など変革期のさ中にあります。

これらに対処すべく当社は、スクラップアンドビルドを伴った興行網の充実強化をはかり、拡大するマーケットを潤す価値の高い作品群の提供に努めます。併せて映像製作の拠点を目指して48年ぶりに新設した特大第7ステージを中心としてスタジオの効率運用をおこなうと共に、積極的な製作投資により優良コンテンツを確保いたします。更にきめ細かな所有不動産の活用と大胆な再開発の推進により経営基盤の充実に邁進する所存でございます。

今後ともなお一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。